


分野	自然
地域	呼子
<p>弁天島の呼子岩脈群（べんてんじまのよびこがみやくぐん）</p>	◎地図・写真・統計資料など
	 <p>（『佐賀県の文化財』より）</p>
<p>唐津市呼子町の弁天島は、唐津市呼子町殿ノ浦と加部島の上に位置しており、北の男島、南の女島の2島からなる。</p> <p>両島は干潮時に地続きとなるが、広大な海食台をほぼ同じ方向に貫く、数本の岩脈を観察できる。この特異な地形は、佐世保層群（古第3期）といわれる堆積岩層を、玄武岩類の溶岩が貫入したことにより形成された。岩脈の活動年代は、15.8 ± 1.8百万年、15.2 ± 0.9百万年と考えられる。</p> <p>弁天島に貫入している岩脈は0.1～4mの幅があり、北西部のものが最大である。</p> <p>東部では、平行に連なる2本の岩脈を観察できる。島の北部の岩脈はいずれも右方向に1.5mずれているが、断層の活動によると思われる。南部の岩脈は海食台上にデコボコ状に突出しているが、これは岩脈が周りの泥岩よりも固いためであり、差別浸食が行われた結果である。</p> <p>弁天島において玄武岩類が貫入した時期は、九州における玄武岩活動の先駆にあたり、日本海の大に伴って西南日本が時計回りに回転した時期にも相当する。</p> <p>また、遊歩道があり歩いていける。島の中には弁天様が祭られ、現在も町の人々に大切にされている。さらに弁天島のように1つの場所でこんなに多くの生物を観察できるというのは珍しい。</p> <p>平成14年3月6日 県の天然記念物に指定 唐津市呼子町殿ノ浦字辻2040番地1他 地質</p>	◎引用・参考文献（出典）
◎エピソード・伝承・うんちく など	◎もっと詳しく知りたい方は
<p>唐津市呼子町の弁天島は、唐津市呼子町殿ノ浦と加部島の上に位置しており、北の男島、南の女島の2島からなる。</p> <p>両島は干潮時に地続きとなるが、広大な海食台をほぼ同じ方向に貫く、数本の岩脈を観察できる。この特異な地形は、佐世保層群（古第3期）といわれる堆積岩層を、玄武岩類の溶岩が貫入したことにより形成された。岩脈の活動年代は、15.8 ± 1.8百万年、15.2 ± 0.9百万年と考えられる。</p> <p>弁天島に貫入している岩脈は0.1～4mの幅があり、北西部のものが最大である。東部では、平行に連なる2本の岩脈を観察</p>	<p>唐津市近代図書館へ お問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html</p>